

飛躍

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

HIYAKU

第371号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2017年12月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・片桐知己治

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Aim your hopes towards the stars in your early days

第53回建学祭「IRODORI」入場者数5,562名

TOP*NEWS

高校 吹奏楽部 全国大会金賞受賞!

東海大学附属推薦入学試験合格者発表



建学祭「知財グランプリ」 グランプリ受賞☆LABO10(2-10)



建学祭「知財グランプリ」 準グランプリ受賞☆ジャズパー-TATSUYA(2-6)



建学祭「知財グランプリ」 準グランプリ受賞☆いちご大福売ってみた。(2-7)

建学祭開催

「実行委員長として」

建学祭実行委員長 3年7組 溝口 愛里

私が実行委員会の長になるなんて想像もしていませんでした。頑張ろうと思う気持ちの一方で、不安な気持ちがとても大きくなっていました。そんな時に支え助けてくれたのは、実行委員会本部のみんなや先生方でした。会うたびに「頑張ってるね」など話しかけてくれるだけで、もっと言ってもらえるように頑張ろうという気持ちになりました。

本部という中心のトップに立てたことは、私の人生のなかでとても良い経験であり思い出になりました。そして何より実行委員会のみんなに出会えたことは一生の宝物です。

今年も無事建学祭を終えられたのは、生徒の皆さんや先生方、実行委員会の皆さんのおかげです。ありがとうございました。

英語スピーチコンテスト(高1)

スピーチコンテストを通して

7組 坂場 千紘

英語では自分が思ったことが文法や単語の知識量の問題でうまく表現できず、「つまらない」と思っていました。スピーチコンテストを通してその考えが一掃されました。自分の言葉をより多くの人に伝わる言語に自分で変換し、ネイティブの先生方により伝わりやすい言葉や文法に添削してもらい、より伝わるように言葉の強弱や身振り手振り、演出を考える。この一つ一つの工程が、自分の世界が広がっていくようで本当に楽しかったです。

今回の経験を糧にこれからも英語を楽しみたいと思います。

最後に、さまざまな場面で私を助けてくださった方々に感謝します。ありがとうございました。

英語スピーチコンテスト		結果
優勝	7組	坂場 千紘
準優勝	10組	鈴木 志歩
3位	1組	柴田 愛海



左から 柴田さん、坂場さん、鈴木さん

日本語ディベート大会(高2) 否定側優勝

●日本語ディベート大会論題●

「高輪台高校はすべての部・同好会活動において活動時間に制限を設けるべきである。是か非か」

*活動時間については、長くても平日は3時間以内、土・日曜日は4時間以内とする。
*長期休業中の練習についても、これに準ずるものとする。
*ただし、大会等における戦績については、現状以上の成果を目標に掲げることとする。

ディベートを終えて

否定側 本島 隼太郎

私は今回のディベートで立論及び立論原稿作成を担当しました。テーマに基づき、否定側の主張をまとめて文を作り、肯定側の主張を予測し反論を考えるといった、普段の生活では全く経験できないようなことをたくさんすることができました。また、他のクラスの仲間との交流も深まり、とても良い体験をすることができました。本番では大勢の人たちの前で話さなくてはいけない上に、相手の出方に合わせて対応しなければいけないので、対応力を付けることができました。



左から 南君、本島君、丸山さん、成田君、小泉君

英語ディベート大会(高3) 否定側優勝

●英語ディベート大会論題●

“Every student should study abroad.”

「全ての生徒は留学をするべきである」

英語ディベートの楽しさ

否定側 高山 裕夢

僕は、英語のディベートはもちろん日本語のディベートすら経験がなく、最初に選ばれた時はどのようなのか想像もつかず不安もありました。しかしディベートの内容を考えていくにつれて、どのような意見を立ててそれに対してどのような反駁が来るのか、仲間とどのように話の筋を作って相手を言い負かすかなど、奥が深くとても充実した時間を送りました。その上、英語で意見を言うため発音や流暢さの向上にもつながり、とても貴重な体験ができたと思います。



左から 高山君、ラモス君、龍造寺さん、茂木君、鈴木君

2017年度 第12回 知財グランプリ結果

今年度で「知財グランプリ」は12回目となりました。

「知財グランプリ」は生徒・保護者・教員の代表8名が高校のクラス展示や模擬店について、①内容やメニュー、②生徒の取り組み、③装飾、④ポスターの4つの観点から審査を行い、上位3団体とポスター部門1団体を表彰するものです。今年度も、調べ学習の発表やゲーム、動画など工夫を凝らした展示や、今までにないメニューも取り入れた模擬店などの企画がありました。多彩な取り組みが出そろ中、今年度の総合部門とポスター部門の優秀クラスが選出されました。中等部3年生や高校1、2年生の皆さんは、今回の受賞クラスを参考に来年度の企画に新たなチャレンジをしてみてください。



グランプリ 2年10組 LABO 10

SSHクラスらしさを求めて「科学をテーマ」に身近にあるペットボトルなどを使って、大人から子供まで楽しめる実験が高い評価を得ました。

準グランプリ 2年6組 ジャズバー TATSUYA

切り絵のような窓の装飾や英字新聞などを装飾に使い、本物のジャズバーのような落ち着いた雰囲気の装飾が審査員に高く評価されました。



2年7組 いちご大福 売ってみた。

生徒の接客態度やいちご風味を強調し、和風をイメージさせるためにすだれを使った内装や、テーブルクロスに和紙を用いるなど完成度の高い装飾が高く評価されました。



ポスター部門賞 2年9組 神社

企画内容・場所・主催クラスがわかりやすく、ポスターとしての目的をしっかりと表現しています。神社という題に対して黒を地にキツネと神社の文字がどこか神秘的な雰囲気を感させる作品となっています。

後援会から建学祭の収益金を寄贈していただきました!

10月14日(土)・15日(日)に第53回建学祭が行われました。両日ともあいにくの雨にも関わらず、昨年とほぼ同数の5,562名の方々の来校がありました。今年も後援会の方々による「バザー」や「けやき屋食堂」での収益金を学校に寄贈していただきました。この収益金は、今後の教育活動に役立つものの購入など有意義に活用させていただきたいと考えております。

後援会の委員の皆様方には、建学祭の準備や当日の運営まで多大なるご協力をいただき、誠にありがとうございました。また、毎年のごこととなりますが、多くの保護者の方々にご協力をお願いし、バザー用品を抛出していただきました。この場をお借りして、厚くお礼申し上げます。



吹奏楽部 * 全国大会 * 金賞受賞

吹奏楽部顧問 畠田 貴生

10月22日に名古屋国際会議場白鳥センチュリーホールにて行われた、第65回全日本吹奏楽コンクール全国大会において、本校吹奏楽部は5年ぶりとなる金賞を受賞しました。昨年までの悔しい想いを果たすべく、今年は作曲家の福島弘和先生に高輪台吹奏楽部のイメージを基にした自由曲を作曲していただきました。手本とする演奏がない中での挑戦でしたが、3年生を中心としたメンバーが猛烈な努力を重ね、当日はホールいっぱいに会心の演奏が響きました。演奏後のメンバーは自然と笑顔にあふれ、充実感がみなぎっていました。結果発表での「東海大学付属高輪台高等学校吹奏楽部 ゴールド金賞!!」の瞬間の生徒たちの歓声は忘れることができません。いつも応援してくださる皆様のおかげです。特に保護者の方々のご厚情には感謝の気持ちでいっぱいです。これからも素晴らしい音楽を奏でられるように努力を続けます。吹奏楽部へのますますのご声援をよろしくお願いいたします。

5年ぶりの全国金賞!!

吹奏楽部部长 3年3組 児玉 美玲

10月22日に名古屋国際会議場にて行われた全日本吹奏楽コンクールに出場し、5年ぶりに金賞を受賞しました。本番の12分間のために1月から練習を始めました。みんなの気持ちもバラバラになることも多く、諦めそうになる時もありましたが、保護者の方々や先生方、友達に「頑張ってね」と励ましの言葉をかけていただき、いろいろな方の支えがあり最後まで頑張ることができました。

本番での演奏は本当に忘れられない12分間になりました。表彰式ではとても緊張しましたが、「ゴールド金賞」と言われて舞台から見たみんなの笑顔はキラキラしていて、ここまでみんなとやってきて本当によかったと改めて思いました。人の気持ちを動かしたり、感動させることはとても難しいですが、一人でも多くの人に私たちの演奏が伝わればうれしいです。今まで応援してくださった皆さん、本当にありがとうございました。これからも吹奏楽部をよろしくお願いいたします。

革命!!

吹奏楽部 3年8組 八百板 亜美

私たちの代はスタートが遅く、良い演奏ができるまで時間がかかりました。新体制が始まって春に行われたコンクールでは、毎回1位を他の学校に取られて悔しい思いをたくさんしましたが、その悔しさが私たちを変えてくれました。今年度から部活動のスローガンが「革命」に代わり、運営面でも音楽面でも部活動が良い意味で変わりました。そうして迎えた10月22日。この日は台風のため大雨でしたが、部員たちは朝からチームワークを発揮し、良い雰囲気で大冒険を乗り越えました。本番では練習以上に上手くいったところもあり、自信に満ちた高輪サウンドを聴かせることができました。そうして得た金賞。本校では5年ぶりの金賞です。この結果は歴代の先輩方の努力の結果でもあり、私たち吹奏楽部を応援してくださった先生方やクラスの皆、他にも多くの方々のおかげです。ありがとうございました。



12分間、会心の高輪サウンドを奏でました♪



5年ぶりに全国大会金賞受賞! 歓喜に湧く!

UAE通信

第1号

2018年4月から、アラブ首長国連邦(UAE=United Arab Emirates)のアブダビにある日本人中学校を卒業したUAE国民生徒2名が高輪台高校に入学する予定です。それに先立って、今回はUAEがどのような国かを紹介します。

アラブ首長国連邦(UAE)ってどんな国?

- アラビア半島の東部に位置する
- 国語：アラビア語(イスラムの国)
- 建国：1971年 7つの首長国からなる連邦
- 国の面積：北海道とほぼ同じ大きさ(約8.36万km²)
- 日本から約8千km離れ、時差は日本より5時間遅い
- UAEの人口に占める国民の比率は2割前後、外国から働きに来ている移民が多い



アラブ首長国連邦(UAE)の気候

- 年間を通じて降雨は少ない
- 夏場の最高気温は日陰でも45℃を軽く超える
- 以前はわずかな湧き水と井戸水を飲料水にしてきたため、人口は限られていた。まさに砂漠の国だった
- 今は国内で生産される天然ガスを使った発電によるエアコンが普及し、酷暑も快適に過ごせる

アラブ首長国連邦(UAE)の産業

- 1920年代まで：天然真珠の採取や漁業
- 1950年代：アブダビでも油田が発見される
- 1962年：原油の生産・輸出が始まる。最初の原油出荷は日本向けだった
- 現在：日本の石油輸入の約4分の1をUAEが供給している

UAEの主要産業は石油の生産と輸出である。1973年と1979年のオイルショックで石油の値段が大きく上昇した。激増した石油収入を有効活用してUAEの国内を近代化していったことで人々の暮らしも短期間で劇的に向上した。今や巨大なショッピングモールが次々と建つなど、まさに半世紀で砂漠と摩天楼の国を実現した。



1960年代のアブダビ



現在のアブダビ

【文・写真等：国際石油開発帝石(株)INPEX提供】

2018年度東海大学付属推薦入学試験 400名が合格 おめでとう

東海大学では、社会的実践力を有した人材の育成を教育理念としており、この理念を実現する具体的な教育施策として、「自ら考える力」「集い力」「挑み力」「成し遂げ力」の4つの力の育成を教育目標に掲げています。この4つの力を身につけるために、特色あるカリキュラムと教育システムを用意しています。

本学は全国に8キャンパスがあり、18学部77学科・専攻・課程(2018年度より19学部75学科・専攻・課程)をもつ全国規模のスケールメリットを生かして、今年度も多くのキャンパスに本校の3年生が進学を予定しています。

さて、2017年11月24日(金)に東海大学付属推薦入学試験の合格発表がありました。これで、5月の小論文試験から始まり、芸術、看護、医学、航空操縦学専攻の適性審査などすべての試験が終了し、半年にわたった付属推薦入学試験も終了しました。今年度は400名の東海大学関係への進学が決定し、これは3年生全体の約88%に相当します。

合格した生徒は、個別指導課題や大学指定のスタディサプリなどの課題に取り組むとともに、大学の先生方から訪問指導のあった学科については、学習についてのアドバイスも受けたと思います。入学までに各自に必要な学力を付けておくようしてください。

右に今年度の合格者の状況を紹介いたします。



●東海大学進学者

合格先	合格者数
文学部	10名
文化社会学部	34名
政治経済学部	54名
法学部	14名
教養学部	50名
体育学部	32名
健康学部	24名
理学部	7名
情報理工学部	4名
工学部	72名
観光学部	26名
情報通信学部	23名
海洋学部	16名
医学部	12名
経営学部	2名
基盤工学部	1名
国際文化学部	5名

●東海大学短期大学進学者

合格先	合格者数
短期大学部(静岡)	1名
医療技術短期大学	8名
ハワイ東海インターナショナルカレッジ	5名

「はたらく消防の写生会」 表彰式

『飛躍』11月号「学年だより中1」でご紹介しました通り、6名の生徒が「はたらく消防の写生会」において入賞いたしました。

10月25日、本校校長室にて東京消防庁高輪消防署二本榎出張所長 金田誠一様から表彰していただきました。

生徒たちは終始緊張した面持ちで表彰状を受け取っていました。

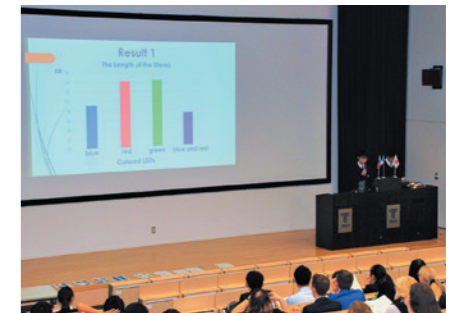
今後もさまざまな場面で活躍してくれると期待しています。



❖ ロシアとカザフスタンから高校生が来校 ❖

10月20日(金)、ロシアから現在交流を行っているガस्पロム教育センターのモスクワ本校と同系列のノヴィ・ウレンゴイ高校、カザフスタンの第54高校から生徒・引率者ら33名が来校しました。全校生徒による歓迎式では、3校の生徒たちによるピアノ演奏、歌、踊りなどが披露され、本校の生徒たちはロシアやカザフスタンの文化の一端に触れ、新鮮な感動を味わったようでした。本校からは吹奏楽部が歓迎演奏を行いました。

午後は高輪キャンパスで、付属浦安高等学校、付属静岡翔洋高等学校を加えた6校の生徒による合同研究発表会が東海大学国際教育センター主催により開催され、「IT教育」「エコロジー」「環境問題」「省エネルギー」の領域に関連する内容について、英語でプレゼンテーションが行われました。本校からは3年SSHクラスから3つのグループ(「巴・外山」「渡邊・武井・齋藤」「藤井・原田」※敬称略)が研究発表を行いました。



巴・外山君の発表



研究発表会終了後の記念写真

松前重義記念基金 建学記念作文・小論文

2017年度東海大学「松前重義記念基金」建学記念作文・小論文の応募者の中から、高校1年4組の玉垣薫さんの「将来の働き方について必要なことを考える」という課題テーマについて書いた小論文が優秀作品に選出されました。玉垣さんには、11月2日(木)に行われた建学記念式典で、片桐校長より記念奨学金の証書と奨学金として5万円の図書カードが授与されました。



受賞のことば

1年4組 玉垣 薫

このたびは奨学金をいただき、とてもうれしいです。ありがとうございます。担任の先生から電話で連絡をいただいたときには、まさか自分が受賞できるとは思っていませんでした。この小論文は規定の文字数が多く、書いている途中に「これでもまだ半分か」と、いろいろ付け足しをしなくてはならず、苦労しました。しかし、その分テーマについて深く考え、自分の意見をまとめることができたのでよかったです。

また、テーマの「将来の働き方について」を考えるにあたっては、高校現代文明論の授業で国際化についての調べ学習をしていたことが役に立ちました。私の中では「環境の変化に対応する能力と心のゆとりを持つことが必要」という結論になりましたが、その考えにとらわれることなく、これから多くのことを学び、柔軟な意見を持てるように努力していきたいと思っています。

学年だより 中1

☆初めての建学祭☆

中等部1年生にとって初の建学祭が10月14日(土)、15日(日)の2日間で行われました。4月からこれまで各教科で習ったことを題材に全9コーナーを設けました。全員が一致団結し努力した結果、多くの方に来ていただき大盛況でした。

建学祭を振り返って、短歌を作りました。
その中でも個性的で素晴らしい作品をここに紹介します。

席足りず 予想以上の人が来て
熱気あふれて 雨を忘れる

B組 上杉彩華

雨の中 冷える中でも 温かく
できるクラスは 中1だけかも

B組 原 誠哉

人々が 東海リーグ 集まれば
星の数より 笑みが広がる

B組 芳賀一樹

校舎内 歩き回れば 目に映る
彩り豊かな みんなの笑顔

A組 荻上 舞

建学祭 家庭科にぎわい 休みなし
終わった瞬間 有頂天

A組 小泉萌花

楽しみな 建学祭は もう終わり
来年こそも もっと楽しむ

A組 平川アレックス



英語



音楽



店前で宣伝



美術



建学祭を満喫



家庭



国語



体育



数学



理科



社会

学年だより 中2

中等部10期生 二度目の建学祭

10月14日(土)、15日(日)の2日間而建学祭が行われました。中等部2年生にとって2回目となる建学祭は、人生ゲームをテーマとして、建学祭係を中心に2クラス合同で作業をしました。建学祭当日は多くの方に来ていただき、楽しそうに説明をしたり、一緒に参加している姿が印象的で、とても充実した建学祭になったようです。来年度は中等部最後の建学祭となります。良いものを創り上げることができるよう、みんなで協力しましょう。

一番大事なのは、みんなをまとめること

A組 川鍋 月乃

私は今回の建学祭で協力すること、努力すること、人をまとめることの大切さを学びました。協力することは時間短縮にもつながり、また、自分一人では思いつかないような案が出てくるため、面白いものを作ることができました。努力することは、みんなで作成する前に、作ってみた場合、どのくらい時間がかかるのか、想像通りに作りたいものが作れるのかを事前に確かめてから作成したため、スムーズに作ることができました。

人をまとめることは、特に大切だと感じました。みんなと協力したりするとき、みんなに仕事を割り振りしたりする人がいないと、みんなが好き勝手なことをしてしまうと思うため、人をまとめる人がいないと何も始まらないからです。

今回、初めて建学祭係をやり、みんなに意見を求めることや、一つのものを作り上げていくのにみんなをまとめていくのは、班の人数が少ないとはいえ大変でした。

次回、もしやるのであれば、今回の経験を生かしてもう少し上手くまとめて、より良い建学祭にしたいです。

建学祭で学んだこと

B組 小西 智也

私が建学祭で学んだことは「協力」することです。去年の建学祭でも、協力することはできたのですが、今年で2回目の建学祭ではさらに協力することができました。今年の建学祭で私は建学祭係になりました。なので、より「協力」という面に気をつけてやりました。最初の準備期間中は班員同士でまとまりがありませんでした。ですが、だんだんと皆が一人では作業ができないということに気づきました。そこからは全員で協力して、相談し、1つの作業を行ったり、分担しての作業をどんどん進めました。最初のスタートダッシュが一番遅く、周りの班よりも遅れましたが、無事に全て万全の状態而建学祭の日を迎えることができました。一人ではできないことも周り協力することでできるようになることを学びました。このようなことから、来年はスタートダッシュから協力し、どんどん作業を終わらせて、去年や今年の建学祭を越えてさらに良い物を作れるようにしたいです。そして、何より、今年学んだ「協力」を忘れずに建学祭を成功させたいです。



大部屋での人生ゲーム



笑顔で説明できました!



楽しく接客中



理科・数学グループです!



社会グループ、みんなで力を合わせました



装飾頑張りました☆

学年だより 中3

建学祭

Youは何しにAusへ? ~Why did you come to Aus?~

10月に行われた建学祭で、中等部3学年は来年2月に行われるオーストラリア海外研修旅行の準備として、事前学習をした内容を発表しました。各ブースで発表の仕方を工夫しました。当日はたくさんのお客さんが来てくださいました。いろいろなことがありましたが、中等部最後の建学祭を無事終えることができました。

中等部最後の建学祭

A組 宮下 杏音

10月14日・15日に私たち中学3年生にとって、中等部最後の建学祭が行われました。私は、初めて建学祭のクラス委員になりました。どのような出し物にするか、他の委員の人たちと一緒に考えました。思うようにいかないことが多く、いやな気分になったこともたくさんありましたが、いろいろ計画を立てられていい経験になりました。

中学3年生は、2月に海外英語研修でオーストラリアに行くので、オーストラリアについて出し物をやりました。テーマでチームを作り、みんなが調べてきたことを、工夫しながら各ブースで発表しました。みんなの発表を聞いて、オーストラリアに行くのが楽しみになりました。お客さんの中にも「ぜひ行ってみたい」とか「楽しかった」とおっしゃってくださった方がいて、とてもうれしかったです。

来年からは高校生として建学祭に参加します。中等部とはまた違った感じだと思うので楽しみです。来年も頑張って建学祭を盛り上げたいと思います。

自身の力と私とあなたの力

B組 千葉 佳

私は、この建学祭を通して、友達の存在ということについて考えさせられました。建学祭の準備期間より前から学年で準備する時間がありました。しかし、私は他の子と話をしていたので、作業がなかなか進んでいませんでした。今までは、自分一人で作業をした方が早くできると思っていました。しかし、友達は私が思いつかない意見を出したり、作業を効率よくやったりしていて、友達の存在の大きさを強く感じました。一人の力では限界があるが、友達とアイデアを出し合ったり、役割を分担したりすることで、より良いものを作ることができると思いました。これからは、自分中心でやってしまうのではなく、友達のことも信じて頼り、力を合わせていきたいです。また、友達を大切に、相手のことを思い、コミュニケーションしていきたいと思っています。



みんなで話し合い



協力して準備



ようこそオーストラリアへ



笑顔で接客



たくさんのゲームで楽しんでもらいました



一生懸命頑張りました

学年だより 高1

初めての建学祭



(左上から時計回りに)「1くみMOVIE」、「フォトスポット」(3組)、「いちご縁」(緑日:5組)、「つるアート」(4組)、「Balloon Room (バルーン・ルーム)」(6組)、「探してます。」(校内人探し:9組)、「新也組」(プラスチック板製作:7組)、「マーケティングリサーチ1-2」(製薬会社との連携)、「オーイーエー企業連携」(建材製作/住宅機器施工会社との連携:10組)、「8組祭ーはちくみへさあいこうー」(ゲーム)

大先輩にインタビュー!

建学祭期間中に高輪会(同窓会)の皆様から1年生のみんなへのメッセージをいただきました。

《勉強の仕方について》

好きな教科や単元を積極的に勉強し、試験のある時以外は焦らず、つぎ進まず、ちゃんと基礎から理解していくことをやっていました。

《高校時代の思い出について》

当時の剛健旅行は野球部が1位になることが当たり前でしたが、新設した陸上部として1位を取りたいということで仲間と一緒に頑張りました。結果ははつきりとは覚えていませんが、上位の方に入ったことを覚えています。

《高校生活/大学生生活のアドバイス》

付属校なので東海大学に行こうというのではありませんが、基礎学力がないと大学に入学してから苦労するので、それを高校生のうちに身につけてから行くべきだと思います。また、東海大学では多くの付属校の生徒と一緒にいるため、付属校の生徒は付属校の生徒だけで固まりがちですが、社会に出る一歩手前でもあるので、一般で入学した人々に積極的に話しかけ、会話をする訓練をした方がいいと思います。

大人になって自分が困った時に助けてくれたり、同窓会などで再会した際にそれぞれが経験してきた社会について情報共有ができたりするので、高校生活においても、大学生活においても本当に信頼できる親友を作った方がいいと思います。



(左から)大塚昭会長、稲田慎一郎君(5組副級長) 貝塚克実理事、穴倉修副会長

《英語の必要性》

周りに外国人が多くいる現在の日本の中でしゃべれないと、自分がつまらなくなってしまうので、最低限の日常会話はできておいた方がいいと思います。また、日々の生活の中で必要になってくるものなので、特別なものだと思うが、どんどん覚えていくべきです。

Takanawa 365days ~7組の成功~

私たちのクラスは建学祭でやることが決まらず、ギリギリまで何をしようか迷っていましたが、加藤先生を中心に話し合い、プラバンをやることになりました。他のクラスよりも準備を始めるのが遅く、当日までに終わるのかわからない状況でしたが、男子・女子ともに協力し、建学祭準備期間も材料がないなどのハプニングはありましたが、何とか準備を終わらせることができました。



プラバンは全部で600枚ほど用意しましたが、その全てがなくなり、とてもうれしかったです。7組が一つになれた行事でした。(石井 麻優)

学年だより 高2

2学年の建学祭はこれ!

2017年度第53回建学祭が終わりました。各クラスの代表が建学祭の活動を振り返りました。

2組 四面嘘顔

宮武 光

私たちのクラスは四面嘘顔という実演型クイズを行いました。中でも一番印象に残ったことは、お客さんとキャスト全員が笑顔でいたことでした。来年もまたみんなと一緒に建学祭を過ごすことが楽しみになりました。



4組 秋水堂 ～とーじーとゆかいな仲間達～

門脇 優香

初めて模擬店に挑戦し、去年とは違った難しさがあり、苦労することばかりでとても大変でした。苦労した分得た利益や課題も多くあったので、来年の建学祭に生かしたいです。



6組 ジャズバー TATSUYA

楠 莉々香

私たちは「ジャズバーTATSUYA」という模擬店をやりました。初めての模擬店ということで不安な点が多々ありましたが、皆で協力し、準備を一日で終わらすことができました。内装にはとてもこだわり、皆が満足していました。その結果、うれしいことに準グランプリを取ることができました。来年はグランプリを目指し、クラスの皆で頑張っていきたいです。



8組 Cool of Daily Life

阿南 文菜

製作期間が短く、作り上げられるか不安でしたが、クラスや先生の協力があって、思い出に残る物を作れました。教室から出てきた人に、「面白かった!」と声を掛けてもらえたことが何よりうれしかったです。



10組 LABO 10

重光 泰智

今年の建学祭で私たちのクラスは科学をテーマに体験型の実験をしました。準備期間では子供に喜ばれる実験の発案や装飾に力を入れて取り組みました。本番を迎えたとくさんの子供たちで賑わい、活気のある出し物になりました。その甲斐あってか知財グランプリの最優秀賞を受賞できました。クラス委員として少しは貢献できたと思います。



1組 ふくきんTV

寺沼 星文

1組は自作でCMを作り、何のCMが当たるという出し物をしました。日頃見慣れているCMですが、作るのはさまざまな工夫をしました。特に、撮る角度や振り付けを工夫しました。建学祭ではクラスみんな1つになり、当日いかなかった人も含めみんなの成功だと思つたので、これを今後の授業態度や私生活に生かしてクラスみんなまでまっとうしていきたいです。



3組 SANBO

北郷 楓果

3組はドーナツジュースを売りました。写真映えるように内装にもこだわりました。接客することでやりがいを感じることができ、いい思い出になったと思います。



5組 ドーナツ? タピオカ? 全然プリン!!

翁 茂朗

今回の建学祭では、クラスの雰囲気も良く、全員でうまく分担して準備からやっていけたと思う。特に装飾をする時にいろいろな人に意見を出してもらい、より良くてきたことからそう感じた。



7組 いちご大福売ってみた。

魚住 優奈

私たち2年7組はいちご風味大福を販売しました。準備の時は少しトラブルもあったけど、みんなでアイデアを出し合ったり、たくさん協力して賞をもらえるようなものを作り上げることができました。クラスみんなには感謝しかありません。来年もこのクラスで良い文化祭にできるように頑張りたいです。



9組 神社

中村 玲海

私たちのクラスではおみくじや絵馬、撮影型パワースポットなどがある神社を作りました。準備期間中は、神社を建学祭で見たことがなかったので参考になるものがなく、レイアウトをどうするかで非常に苦労しました。



級長会 モザイクアート

村上 綾香

モザイクアートを作る作業は地味で大変なものでしたが、級長会のメンバーで楽しくできました。モザイクアートが完成した時の達成感、感動は忘れられません。



学年だより 高3

10月14日、15日に第53回建学祭が行われました。高校生活最後の建学祭を盛り上げるべく、工夫を凝らした模擬店が生徒玄関前に軒を連ねました。どのクラスも雨天に負けない素晴らしい取り組みでしたので、2号にわたって状況をお伝えします。



1組

田口 蓮

1組は模擬店で「串焼き屋」をしました。準備期間では、本物の串焼き屋のように暖簾を作ったりと店の外装も工夫し、皆で協力し準備期間を過ごしました。当日、自分たちのクラスの金券は完売し、売り上げも良く、とても楽しかったです。ハプニング等もありましたが、ラストの建学祭で良い思い出ができました。

2組

荒木 颯太

3年2組は「クセが強えやきそば」を作りました。部活動等で忙しい仲間が多かったり、時々雨が降っても、高校最後の文化祭ということでみんなで協力し、大賑わいとなりました。私は買い出しを担当しましたが、個人では買わない量を購入したので運ぶのが大変でした。初めての模擬店運営でしたが、今回学んだことは今後のさまざまな場面で役に立つと思います。良い経験ができてよかったです。



3組

鵜飼 康弘

今年の建学祭は手作りホットドックを販売する「My dog」をやりました。最後の建学祭ということで、普段はまとまりのない3組もクラス建学祭委員の池田君と富田君を中心にしっかりとまとまり、なんとか本番も大成功で終わることができました。今後、残り少ない時間の中で、クラス全員で取り組める機会が少なく寂しくなりますが、今回の建学祭のように一致団結して、卒業に向かって最後まで3組として頑張っていきたいです。

4組

古積 廉人

準備期間では全員が協力し、助け合いをしながら準備に励みました。とても良い環境で準備を進めることができたと思います。当日は部活動で忙しい友達や、体調を崩して急遽来られなくなった友達もいましたが、普段から仲の良い4組は全員で一致団結し、カバーし合いながら精いっぱい頑張りました。



5組

戸嶋 みなみ

私は、クラスに何か貢献したいと思い、クラス建学祭委員に立候補しました。ですが、行事において中心となって指示を出すことや、作業をすることは初めてだったので不安を感じていました。しかし、クラスが一丸となって準備期間から建学祭当日まで取り組んだので、想定外な問題は起きず、素晴らしい建学祭になりました。天候の悪い中、多くの方に買っていただいたこと、サポートしてくださった先生方、クラスメートに感謝しています。

SSH活動報告

成果報告会



10月28日(土)に、本校で成果報告会が行われました。他のSSH校以外にも海外からパヤオ高校の生徒が来校し、交流しました。休憩時間やポスター発表の際には、交流しようと積極的に声をかけている生徒も多くいたため、とても充実した時間を過ごせたと感じました。

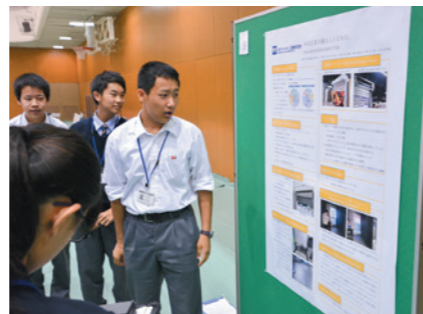
初めての海外交流

1年10組 佐藤 透

今年から1年生もSSH成果報告会で英語の原稿を用意することになりました。今まで英語でプレゼンをした経験がなかったので、この企画を聞いた時、不安でいっぱいでした。日本語が全く伝わらない相手にどうすれば自分の発表を理解してもらえるのか、班員とよく考え、時間をかけて原稿を完成させました。

そして当日、私は原稿の英文を一単語ごと間違えないように慎重に読みました。緊張で下を向いて話してしまっていたのですが、アイコンタクトを取るため顔を上げると、タイの方はうなずきながら一生懸命メモを取っていました。それを見て、自分の英語が相手に伝わっていることに感動しました。タイの方も母国語でない英語を勉強してきたのだと思い、緊張しているのは自分だけではないのだと知り、そこからは自信をもって元気よくプレゼンできました。

今回のSSH成果報告会を通して、さまざまな研究発表を聞いて、より理科に興味関心を持ちました。また、自分の英語が伝わったことへの喜びと、もっと英語ができるようになりたいと強く感じました。



ポスター発表を頑張りました

英語発表を経て

2年10組 松本 萌子

私は、今回の成果報告会で英語への関心がとても深まりました。一番のきっかけは、英語での学校紹介です。

原稿からパワーポイントまですべて英語で、わかりやすくするなどを考えて作成するのは難しかったです。英語の先生だけでなくネイティブの先生にもチェックをしていただいたり、発表時のアドバイスなど多くのことが学べました。このようなことをするのは初めてだったので緊張しましたが、大変だった分、とても楽しかったです!

そしてもう一つ、アカデミックプレゼンテーションの授業の様子を紹介することでポスター発表をしました。英語と自分の体を精いっぱい使い、パヤオ高校の生徒たちにも伝わるよう頑張りました。いつもの授業で行うよりもはるかに大きい達成感がありました。

私は、今まで英語は苦手だからとあまり積極的なことはしなかったのですが、英語を使い自分の考えた言葉で何かを伝えるということが、今回の成果報告会で体験できて本当によかったです。



英語で質問しました

司会を経験して

3年10組 三上 圭巨

今回私は英語でのポスター発表と司会をしました。この発表会に向けて、自分の研究発表の準備をしましたが、実験結果がまともなく苦戦しました。また、私はネイティブの先生と話すのがもともと好きだったので、まず自分が思っていることを伝える努力をし、英語での交流にとっても役に立ったと感じました。ネイティブの先生には感謝していますし、到底1人ではできなかったと思います。本番の日は、緊張より楽しみで仕方ありませんでした。タイの方と最初に交流した時から話が合い、言語の違いを感じさせないほど楽しく感じ、タイ語を丁寧に教えてもらうことができました。ポスター発表では私の周りにたくさんの人が並び、真剣に聞いてくれました。質問に対して、スラスラ答えられたことが本当によかったです。最後にパフォーマンスを行い、今までで一番楽しんでできました。今回の体験は私にとっての本当に良い機会となり、言語や文化を学ぶことがさらに好きになりました。



さまざまな交流が行えました

2017年度学校運営方針

今月も2017年度の学校運営方針「重点目標」達成に向けた具体的な取り組みを紹介します。

本校の取り組み Vol.2 ～学習編～

- ▶ 全授業を公開し、研究授業・公開授業へ積極的に取り組み、「教えるプロ」としての教員の資質向上を目指す
- ▶ 「生徒による授業評価アンケート」の結果を受けて、授業改善の期間と数値目標を設定し、組織的な授業改善に努める
- ▶ 全教科による SSH 活動への積極的な取り組みと女子の理工系進学推進を行う
- ▶ 実験を重視した理科授業を推進する
- ▶ 「朝読書」を推進し、落ち着いて授業へ取り組む姿勢を生み出し、読解力・文章表現力を育成する

学校の教員として最も重要な仕事は「教える」ことです。その中でも生徒に「学力」をつけることは最優先されることです。その実現のために、我々教員は責任を負わなければなりません。「学力なんて必要ない!」と考えている生徒は一人もいないはずですが、得意不得意があったり、自分の思い通りに勉強が進められなかったり、そういうところから悩みが大きくなっていくのでしょうか。そんなとき、教員は「どこがわかっていないのか」「どこに力を入れるべきか」など授業の振り返りや、次の授業の研究をしていかなければなりません。そのための具体策が上記の内容です。教員同士の意見交換、生徒からの意見、どんな方法で授業を進めるかなど、日々我々は求められています。生徒や保護者からの意見は大変貴重です。わからなかったときはもちろんですが、授業がよくわかったときにも、教員に伝えてもらえたらと思います。

また、朝読書の充実も重点目標の一つです。落ち着いた「心と雰囲気」で授業が始められるよう、活字に集中する時間を大切にしてください。また、読み終えて良かった本は、友達や先生に紹介してあげてください。



お知らせ

高校3年生特別講座開始

自ら学び、探究しようとする姿勢を大切に!!

期間 12月5日(火)～1月31日(水)

目的 大学での授業に備え、高校までに獲得しておかなければならない知識・技能について、これまでの授業とは異なる角度から学ぶため。

大学では、主体的に学ぶ姿勢がこれまで以上に求められます。学修に対するしっかりとした姿勢を身につけましょう。

中等部吹奏楽部 第9回定期演奏会

日時: 12月27日(水) 15:30 開場 16:00 開演
場所: 高輪区民センター 区民ホール (白金高輪駅下車出口1を出てすぐ)
入場料: 無料(12月12日より高輪区民センター窓口にて入場券を配布)
 1年間の集大成として部員一同頑張りますので、ぜひ聴きにいらしてください。

行事予定

December 12月

January 1月

- 1日(金) 後期中間試験(高1・2)
卒業試験(高3)
校外活動(中等部)
- 2日(土) 生徒自宅学習日(高3) 保護者会(中3)
- 3日(日) 受験生・保護者対象学校説明見学会⑤(高校)
- 4日(月) 朝礼 短縮授業 答案返却(高3)
- 5日(火) 特別講座開始(高3)
- 7日(木) 学年集会③(中3)
- 9日(土) 三者面談開始(中等部)
後援会湘南校舎見学研修会
- 10日(日) 受験生・保護者対象学校説明見学会⑤(中等部)
- 12日(火) 校医相談日⑧
- 14日(木) マナー講座(高3)
- 15日(金) 高校入試相談(生徒自宅学習日)
- 22日(金) 冬期休暇前諸注意・大掃除(5・6時限)
- 23日(土) 天皇誕生日
- 25日(月) 冬期講習(～28日)

- 6日(土) 新春懇親会
- 8日(月) 成人の日
- 9日(火) 朝礼 短縮授業
- 10日(水) 4時限授業(5・6限目カット)
- 11日(木) 学年集会③(高2、中2)
- 14日(日) 受験生・保護者対象学校説明見学会⑥(中等部)
- 15日(月) 高校推薦入学試験願書受付(消印有効)
- 16日(火) 校医相談日⑨
- 17日(水) 専門医によるカウンセリング⑥
- 18日(木) 4時限授業(5・6限目カット)
- 20日(土) 3時限授業(1・3・4時限・2限目カット)
英検③(中等部:2・3時限)
中等部入学試験願書受付
(第1回:～31日、第2回:～2月2日、第3回:～2月4日)
- 22日(月) 高校推薦入学試験(生徒自宅学習日)
- 23日(火) 高校推薦入学試験可否発表
- 25日(木) 生徒による授業評価アンケート④
生徒による学校評価アンケート②
高校一般入学試験願書受付(～2月5日)
- 29日(月) 特別時程(高校、中1・2:～31日)
後期期末試験(中3:～31日)

編集後記

教室から見える木々の葉も色づき、季節は刻々と移り変わっている。師走を迎え、早いもので今年も残すところ1カ月となった。アメリカトランプ大統領の就任に始まり北朝鮮情勢の緊迫化、国内ではもりかけ学園の付度問題、都議会選挙で都民ファーストの会が大勝、衆議院の解散総選挙など今年もいろいろな出来事があった。年の瀬を迎えクリスマスや大晦日など何かと慌ただしさを増すが、そんな時こそじっくりとこの1年を振り返りたいものである。来るべき2018年が皆様にとって素晴らしい年になりますよう祈念しております。(ほ)

建学祭の一場面



このモザイクアートは、高校2年生が研修旅行での写真約5,000枚を用いて作成しました。81枚のパネルからなり、一枚当たり写真700枚、延べ60,000枚で構成されています。(現在2Fコミュニケーションホールに展示中! ぜひ一度ご覧ください)